

外国語教育メディア学会（L E T）関西支部中学高校授業研究部会・
京都教育大学英語の教え方研究会 主催

2013年度 4月例会のご案内

日 時： 2013年 4月14日（日） 13：30～17：00

会 場： 京都教育大学 CALL教室（1号館B棟4階）
（アクセスは<http://www.kyokyo-u.ac.jp/>から）

参加費： L E T会員・英語の教え方研究会会員 無料
京都外国語大学英語教育研究会会員 300円
学生 200円 一般 500円

問い合わせ先： 西本有逸（京都教育大学） yuitsu@kyokyo-u.ac.jp
鈴木寿一（京都外国語大学） j_suzuki@kufs.ac.jp

内容：

13：10～ 受付

13：30 開会

知識基盤社会に英語科教育はどのように対峙していくのか

京都教育大学 西本有逸

1. 英語科教育はコミュニケーション能力の育成だけを目指にしているの？
2. 知識基盤社会のなかでは大所高所からの視座が必要では？
3. PISAは有名だけど、OECDのDeSeCoって何？
4. どのような実践が考えられる？

14：45 休憩

15：00 再開

中学校における対話概念を取り入れたライティング指導の提案
ーキー・コンピテンシーの育成と生徒の変容ー

京都市立嵯峨中学校 大塚恵理

平成 24 度より中学校では新学習指導要領が施行された。小学校外国語活動をうけて、中学校では「聞く」「話す」技能に「読む」「書く」技能を加えた 4 技能統合型の指導をすることが要求されている。中学校外国語科の目標として「コミュニケーション能力の基礎を育成する」ことが掲げられているが、それと同時に、より高次の能力観である OECD により定義づけられたキー・コンピテンシーの育成をも視野に入れた教科指導の可能性を探った。4 技能のうち、中学校の現場でもっとも困難であろうと思われるライティング指導に着目し、テストで点数を取るための accuracy 至上主義を見直し、生徒をその発達という視点から捉え、本来の「書く」という活動のもつ意味を見つめ直すことを通して、読み手を意識したよりコミュニカティブなライティング活動を創出することにより、生徒が生き生きと「本当のことば」で語る（綴る）力を育成し、書くことを通して自らを意味づけする力を育むことを目標に取り組んだ中学校 3 年生における 8 ヶ月間の実践を紹介させていただきたいと思います。

17:00 閉会

会場までのアクセス：

1) 京阪電車利用の場合

- ・淀屋橋、天満橋、京橋からは、特急あるいは快速急行で丹波橋下車、普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（所要時間約 40 分）。徒歩約 8 分。
- ・四条からは、普通あるいは準急電車で墨染駅下車（所要時間約 15 分）。徒歩約 8 分。

2) JR 京都駅より JR 奈良線利用の場合

JR 京都駅で JR 奈良線に乗り換え、普通電車で JR 藤森駅下車（乗車時間約 8 分）。徒歩約 3 分。

3) 奈良方面より近鉄電車利用の場合

西大寺にて快速または快速急行に乗り換え、丹波橋下車。京阪本線普通あるいは準急電車に乗り換え、墨染駅下車（乗車時間約 40 分）。徒歩約 8 分。

お願い：最近、メールアドレスを変更される方が増えておりますため、案内をお送りしても 100 名分以上が戻って来ます。今後、メールアドレスを変更される場合は j_suzuki@kufs.ac.jp までお知らせください。

今後の予定：諸般の事情で日程・会場が変わる可能性もあります。

- 7月14日（日）例会 於）京都教育大学
- 9月 8日（日）例会 於）京都教育大学
- 12月 8日（日）例会 於）京都教育大学
- 1月12日（日）例会 於）京都教育大学
- 3月21・22日 第20回中学高校教員のための英語教育セミナー